

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：社会科学】

大 学 名	神戸大学	整理番号	I - 2
拠点のプログラム名称	新しい日本型経済パラダイムの研究教育拠点		
中核となる専攻等名	経済学研究科総合経済政策専攻		
事業推進担当者	(リダー) 山口 三十四 外16名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>21世紀の日本経済を規定するのは、グローバル化の進展と人口減少である。本プログラムの目的は、急速に進展するグローバル化と人口減少の下での持続可能な経済システムを探求し、具体的な政策提言に結びつけることである。そのために、以下のような4つの拠点形成計画の実施を予定している。まず第1は、経済学研究に関し、既に世界最高の水準にある実績を踏まえ、経済学研究科と経済経営研究所との密接な連携の下で、新たな分析手法の開発と応用研究の構築を目指す点である。第2は、神戸大学の研究教育の支援体制である「学術研究推進機構」と「国際交流推進機構」の中心拠点として機能し、COE内の各研究グループが国際共同研究を推進する点である。第3は、既に緊密に形成されている国際的な研究ネットワークを発展させ、最終的には「国際研究コンソーシアム」を組織し、その中核を担う点である。さらに、第4は、大学院生、ポスドクを対象とする「高度研究者養成プログラム」を実施するとともに、「リエゾンセンター」などを通じた社会的貢献を果たすことである。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>理論経済学や国際経済学の分野で国際的に評価の高い業績を持っており、世界水準の研究教育活動が実現する可能性が高い。世界的研究拠点の形成に期待する。人口減少・グローバル化・環境問題への対応は、いずれも重要な課題であり、これらの分野での若手の人材を育成することが期待される。</p>			